

# 第8回 気仙沼市新庁舎建設基本構想策定有識者会議

## 議 事 要 旨

### 報告事項

(1) 第7回有識者会議の議事要旨とその対応について【報告1】

- ・ 第7回有識者会議の議事要旨については、内容は配布資料のとおりであり、説明は省略した。

### 議事要旨

(1) 会議の公開・非公開・議事録の作成について

- ・ 本会議及び議事録については、市情報公開条例に基づき公開とすることで了承を得た。
- ・ 第7回有識者会議の議事録については、丸谷委員長と矢口委員の署名とする。

(2) 気仙沼市新庁舎建設基本構想(案)について

カテゴリ	No	意見等	市当局より
建設位置について	1	<p>・1月に市長が位置の決定について、記者会見でも説明されたが、商工会議所では、具体的なまちづくりのビジョンについて、位置の決定を発表してから言われても後付感が強く、色々な話を拾って羅列しただけではないか、といった意見があった。これについては、ご回答は不要。</p> <p>(菅原委員)</p>	—
交通量について	2	<p>・商工会議所として行った会議から、旧市立病院跡地周辺の道路で本当に大丈夫なのかといった不安も出ていた。道路の拡張が必要なのではないか。交通量等の検討はなされたか。</p> <p>(菅原委員)</p>	<p>交通量については、本日の資料2『建設位置選定関係資料』の「資料2-36」ページ、大きい数字のページ番号では35ページをご覧ください。交通量調査の結果は、把握しています。調査箇所は気仙沼大橋、本町橋南側、現市役所前、上田中交差点の4箇所です。現市役所前は約1万台、本町橋南側も約1万台、気仙沼大橋は約1万台弱、上田中交差点は約1万5千台という結果が出ています。交通量としては、上田中交差点は国道45号の交差点なので交通量が多いのはやむを得ないものの、現位置との大きな差はないと考えています。また、有識者会議において建設位置を検討する際の評価シートの中にも記載がありますように、現位置までのアクセス路は1系統、旧市立病院跡地は4～5系統あることを確認しています。</p> <p>旧市立病院跡地の敷地から県道までの道路は、路線バスや大型車が往来できる幅員すでに確保されていますが、旧市立病院跡地の南側の道路については、大型車等はすれ違えない細い市道となっているため、敷地をセットバックする等、今後の基本計画、設計と進める中で、造成の工夫の仕方、拡張することができると考えています。</p>
整備費用について	3	<p>・電気や上下水道等のインフラの供給、整備費の問題も含めて、本当に大丈夫なのかという不安が出ていた。インフラ等の追加費用が発生しないのかお聞かせいただきたい。</p> <p>(菅原委員)</p>	<p>上水道については、本管が入っておりますので問題ないと確認しております。下水道については、現在供用区域外であるものの、隣接地まで下水道の供用区域になっております。供用区域変更の必要性はありますが、直近まで入っている管径についても問題ないと把握しております。</p> <p>電気は電線で配線できますし、都市ガスについては、十分な量の中圧導管で病院の敷地まで入っておりますので、問題ないと確認しているところでございます。</p>

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路についても、大きな費用をかけずに、十分この交通量を賄えるということか。(菅原委員)</li> </ul>	<p>市役所に来る車につきましては、現位置は1箇所しかアクセス道路がありません。旧市立病院跡地は、大小様々ありますが、4つ、細かい経路を含めると5つの経路があります。そのうち少なくとも2経路～3経路はある程度の交通量を捌くことができます。</p> <p>現市役所においても、県道から役所の建物までのアクセスが短いですが渋滞することはありません。その理由は、ワン・テンの駐車場も含めて敷地内への吸い込みができていているということだと思います。旧市立病院跡地においても、敷地が広いので吸い込みは十分にできると考えております。</p> <p>また、敷地が広いので、自分の敷地を削って周りの道路だけであれば拡張することもできると思います。ただし、病院の入り口に上がっていく交差点は、形が悪く怖かったと思いますので、改良は必要だと思います。その改良が、市敷地を削るだけできるのか、他の3つの交差点の角の敷地の一部を譲っていただく必要があるのかどうかについては、今後の検討になると思います。</p> <p>もう一点、魚町側から現市役所へ侵入する際、道路に右折車両がいても、その左側を通行が可能となっております。旧市立病院跡地の前の道路も同様スペースを確保しなければならないと思います。そのため敷地内への進入路の位置をどこに確保するかについては、いくつか方法があるかと思っています。</p>
候補地の評価について	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価の資料として東日本大震災の浸水区域図や洪水浸水想定区域図がありますが、東日本大震災で浸水したかどうかというよりも、防災対策がなされた後の性能がどうかという評価が最も重要ではないか。</li> <li>旧市立病院跡地周辺のアクセス路が浸水する可能性があるとするれば、津波に対する現位置と旧市立病院跡地の評価は、今回判断したような、現位置が△、旧市立病院跡地が○という評価にはならないのではないか。(吉田委員)</li> </ul>	<p>洪水浸水区域につきましては、現位置が△、旧市立病院跡地が○というのはそこに色が塗られているかということで評価していると思います。また、復興事業として神山川の排水強化のために大きなポンプ場をつくりました。それと、田中前からの別な管もつくりました。この洪水浸水想定区域図は、それらを加味したものではないということ、今事務局に確認しました。そうすると、旧市立病院跡地の裏側から、他の場所に行けますという形になっていますけれども、前面も開く可能性は高いのではないかと考えています。</p>

カテゴリ	No	意見等	市当局より
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波については、現在、最大津波の計算がまだできていません。ですから、本来は新しい防潮堤が健全な場合と健全じゃない場合を考えつつ、新しい津波がどこまで来るのか計算して評価するのが望ましい。ただし、それができないのが現状なので、参考として東日本大震災の津波浸水のエリアを使った。</li> <li>・建設位置の評価の際、参考として東日本大震災津波浸水区域図を使用したが、旧市立病院跡地については、前面が水没しても、裏側の道路が健全だということを写真まで付けて示している。</li> <li>・現位置は、前面道路が浸水すると、裏側からの逃げ道は BRT の道を上手く使うしか無いが、BRT の道はそう簡単にアクセスに使いにくいということで、孤立してしまうという点がある。</li> <li>・洪水の件について、実際に問題視したのは、現位置は、車両が東側、西側、南側に行けなくなってしまうことが大きな問題になる。旧市立病院跡地については、裏側から水没しない広域幹線道路に抜けられるので大丈夫だろうということがあった。</li> <li>・土砂の件については、現位置の方が危ないということもあって、津波・洪水・土砂3点を見ても、現位置の方がやや危ないということで、評価として現位置△、旧市立病院跡地○を認めたという経緯がある。 (丸谷委員長)</li> </ul>	—
上位計画との整合性について	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想（本編）42 ページの建設位置の決定について、選定の理由の④に、「公共公益の重要施設を1か所にまとめ、シビックセンターを形成することが望ましいと考えますが、歴史上・地勢上そのことができなかった本市にとって、今回の移転は行政施設の配置の観点において一定の合理性がある」と述べられていますが、記載すべき内容は、上位計画である都市計画マスタープランとの整合性ではないか。</li> <li>・都市計画マスタープランの中で公共施設の配置方針が謳われていると思うので、それとの整合性がどうなのかをここで述べるべきでないか。 (吉田委員)</li> </ul>	<p>資料1 基本構想（本編）の18 ページに都市計画マスタープランについて記載されております。「都市機能が集中している地域」として、中央地域の中心拠点が位置付けられていますが、中心拠点には、現位置や旧市立病院跡地を含む広い範囲が位置づけられておりますので、都市計画マスタープランとの整合性は図られております。</p> <p>また、「①土地利用の方針」の2つ目の項目に記載されていますが、「これら被災した公共公益施設を極力分散させずに再建することによって、市民が生活する上で利便性の高い集約型の中心拠点づくりを目指す」として、マスタープランの中で位置付けております。</p> <p>基本構想（本編）42 ページの④につきましては、先程1月28日に発表した資料ではこういうかたちになっておりますが、都市計画マスタープランに沿っているという表現に直したほうが良いというご指摘だと理解しておりますので、もう1度事務局で再精査して、その方が良ければそうさせていただきますと思います。</p>

### (3) 各委員の感想

矢口委員：矢口です。皆様、お疲れ様でございます。今回、1箇所絞り込むことができているところでもあります。議論の中で、現市役所跡地をどう活用していくか、また、内湾との関係というのを、市役所移転の後も忘れずに対応していただきたいというのが私の率直な感想でございます。

本日の議論中でもあった、都市計画マスタープラン、上位計画の方も、今後、市役所が移転した後、気仙沼市の全体のビジョンをどうしていくかについて、もう一度再考する良いチャンスと捉えて、今後の気仙沼の在り方を市民の皆様を巻き込んで考えて頂きたいと思いません。以上です。

遠藤委員：1年間、皆さんと一緒に勉強して参りました。私も、地域の方から電話なりいろいろなことで責められるものですから、日常苦勞して、どうなるのかと思うこともありました。

市長さんの会見資料を見ましたけれども、ただ移転すれば良いということではないということで、菅原委員からも一生懸命この件についてご意見を出していただいております。そういった意味で、市長さんからもありました、移転した後の流れを書いて話されておりましたので、いくらかは安心しております。そういった面で、ほっとしております。

先程もありました道路関係については、旧市立病院跡地の方は、あまり心配ないと書いてあったのを読んでもみましたが、若干拡張しないと新しい市役所への進路について心配だと思っておりますので、その辺も是非、拡張した方が良いのではないかと思います。以上です。ありがとうございました。

小野寺(有)委員：今回の新庁舎移転が6年後には新庁舎が使えるようになるということなのですが、是非それが気仙沼復興の起爆剤になるように、できる範囲で協力していきたいと考えております。

第1回の会議でも話をしたのですが、点在する公共施設、公民館や学校などについて、情報のアクセスは複数系統、3系統は必要だと思いますので、太陽光やバッテリーの備蓄等も含め、情報がないと。東日本大震災のあった3月11日の合格発表等に大変苦勞した経験上、情報網の複数系統の整備は是非お願いしたいと思っておりますので、ここで敢えてお願いをして、感想とさせていただきます。ありがとうございます。

加藤委員：加藤です。ありがとうございました。いつもお話しすることと一緒になのですが、これから10年、20年かけて社会は大きく変わっていくだろうと思っていて、予測を立てることが非常に困難なところにいるのではないかと考えています。Society 5.0（仮想空間と現実空間を高度に融合し、経済発展と社会的課題の解決を両立させた新たな未来社会の実現）に向けて、様々な技術革新がこれから起きて、今まさに働き方もそうですし、移動の仕方も含めこれらいろいろと変わっていく中で、とても大事なものは、どういうまちでありたいのかというビジョンであると思っています。あくまで、新庁舎というのは手段であって、目的ではないと思っておりますので、どこにビジョンがあるかという議論が常に起きる6年間であれば良いと思っていますので、引き続き、そういった観点を持っていただければと思います。ありがとうございました。

春日委員：これまでの膨大な資料、大変分かりやすくまとめていただいた事務局のご努力、ありがとうございます。今回、私から要望が2点ほどございます。市民意見の中でも、本吉と唐桑支所の機能の充実という意見がありましたが、どの部分の機能をどう充実して欲しいのかが分かりませんので、もしよろしければ具体的に、ここの機能をという声を詳しく、本吉と唐桑方々から聞いていただければ良いと思います。

内湾ですが、プラザホテルの前の道路から旧エスポート付近の道路は非常に交通量が多くなっていますし、観光客の方々もレンタル自転車を利用して走っています。ですから、自転

車用道路と歩行者用専用道路をきちんと分けて、安心して自転車で走って、周辺にある武山米店さんや角星さん、男山さんの方にゆっくり歩いたり、自転車を留めて見学できたりするような、安心して気仙沼のまちを楽しんでもらえるような観光道路の整備等を是非考えていただければと思います。以上です。

小野寺（克）委員：本吉地区からということで、参加させていただきました。本吉地区に新庁舎が来ないかなという思いで伺いましたが、第1回目の会議で総合支所の方はないですというお話をいただきまして、気仙沼市全体のことを考えると当然かなと思います。いろいろな勉強を8回の中でさせていただきましてし、視察等も参加させていただき、今もこのように変わってきているし、これから変わっていくのだなということを実感したところでした。先程、本吉と唐桑の総合支所の方の在り方の検討もというお話がありましたが、市民説明会の中でもそういった意見が多かったものですから、そちらの方は是非ご検討いただきたいと思いました。

この会議で一定の結果を出せて、それを市の方でも精査していただいて取り入れていただいたことは、本当にありがとうございました。私自身、本当にいろいろな面で勉強させていただきました。ありがとうございます。

菅原委員：繰り返しになりますが、私がまちの構造や骨格の話をしていたのは、決して内湾のためとか三日町、八日町のためとかでなく、それとは全く違うレベルで話をしてきたつもりです。やはり、まちの価値をどうやって保っていくか、あるいは上げていくかを真剣に考える中で、しっかりとした構造、骨格を作っていくべきだろうということでお話をしてきたつもりです。そういった意味では、残念ながら、骨格や構造の議論については不足していたことは否めないと思っています。今後、基本構想に基づいて基本計画等のプロセスをたどっていくかと思いますが、我々、商工・経済団体としても、こういったことについてはしっかりと関心をもって望んでいきたいと思っています。

もう一点は、先程質問もさせていただきましたが、どちらに行くのが良いとか駄目だとかという話とは違って、要するに、過大な投資や負担が市民に及ばないようにして欲しいというところであります。それは、デジタル化、加藤委員からもありましたが、今後のIoTやAIといったものを使った時の庁舎の規模感がどうなのかを含めて考えていったときに、過剰な大きさ、過剰な周辺整備、あるいは余計な機能をあえて付加する必要はないと思いますので、その辺はしっかりと取り組んでいただきたいと思っています。以上です。

吉田委員：皆様、大変お世話になりました。このような形で、しっかりとした提言にまとまったことは、大変嬉しく思っております。1点申し上げますと、恐らく本当の議論というのは、位置だけではなくて、市民にとってどのような機能、あるいは、どういう場所の魅力を作り出すことが大事なのかという、そもそもの庁舎の機能についての議論が求められていたのではないかと思います。そこに十分な時間がさけなかったというのが感想であります。ただ、位置については、市民の皆様の関心も高かったので、それに対しては十分時間をかけて精査をして、このような結論に至れたのだと思います。何事にも、歴史には必ず始まりがありますので、移転したからといって歴史が途絶えるということではなくて、またそこから新たな歴史が始まっていくのだなと考えていければ良いと思います。今後、もう1つ大事な新庁舎の役割であり、場所性であり、サービスでありということにつきましては、設計、デザインのフェーズに入った時に、もう少し市民の皆さんのご意見を聞く場を設けられれば良いと思っています。市民の皆さんと一緒に、そういう場所を作っていくということが、やはり、まちづくりの中では大変重要なことでもありますので、位置がどうこうということではなくて、新しい歴史をスタートさせるのに是非、市民の皆さんと一緒に考えていっていただきたいと思っています。以上です。

峯浦副委員長：多岐に渡る様々な課題があり、それから、判断が難しいことがたくさんあったと思いますが、無事にまとまって、大変お疲れ様でした。これからが本番ということだと思いますし、移転先のことも、現位置のことも、様々な市民の皆さんの思いがあるかと思います。全部はなかなか難しいと思いますが、できるだけ市民の皆様の思いが実現できるように、気仙沼市の皆様の英知を結集して、少しでも実現できるようなかたちで進めていっていただけるように心から願っております。

丸谷委員長：それでは最後に、私から一言申し上げます。提言の結論にありました、内湾との関係、市全体との関係を踏まえてしっかりと対応していただきたいという件につきましては、字面通りでございます。

実は、終わったので申し上げますと、決定の前に計画を説明していただけると思っております。例えば、旧市立病院跡地をどのように使う計画なのですかという話を教えていただきたいと、打合せでもご要望を申し上げていましたが、なかなかそういった計画もできていないという状況の中で、ではこの委員会でするのかという、そういった構成ではないということもありますし、それから、こういった件については、スケジュール的に早くスタートしないと、建てるのも時間がかかりますので、計画がないのに決められないということであると、旧市立病院の古い建物が残ったままずっと何年いるのだろうか、この街は、ということもございましたので、前に進めるタイミングを逸してはならないという市のお考えについても理解できるということでしたが、本当は計画があって、きちんと納得して選べれば良かったと思いますが、残念ながらそういったことができない中で決めなければいけなかったということについては、まさにそれが、条件として市にお願いをしたということでございます。

そして、私も外部の人間ですので、気仙沼に来たのは内湾地区やこの市役所周辺辺しか最初はなくて、これからも、そこが本当に気仙沼の顔であり、いろんな意味で気仙沼を有名にしていく担い手であるということについて、変わりようがないかなと思っております。そういった意味で、及ばずながらご協力できることがないかと個人的には思っております。是非、内湾の活性化について、本気の検討が続くと思っておりますが、それが上手く成果を得られますように強く祈念申し上げます。私からは以上です。

以上で、コメントについて一周致しましたので、これで私から事務局にマイクをお返ししたいと思います。

#### (4) その他

- ・特になし。

(15:00 閉会)